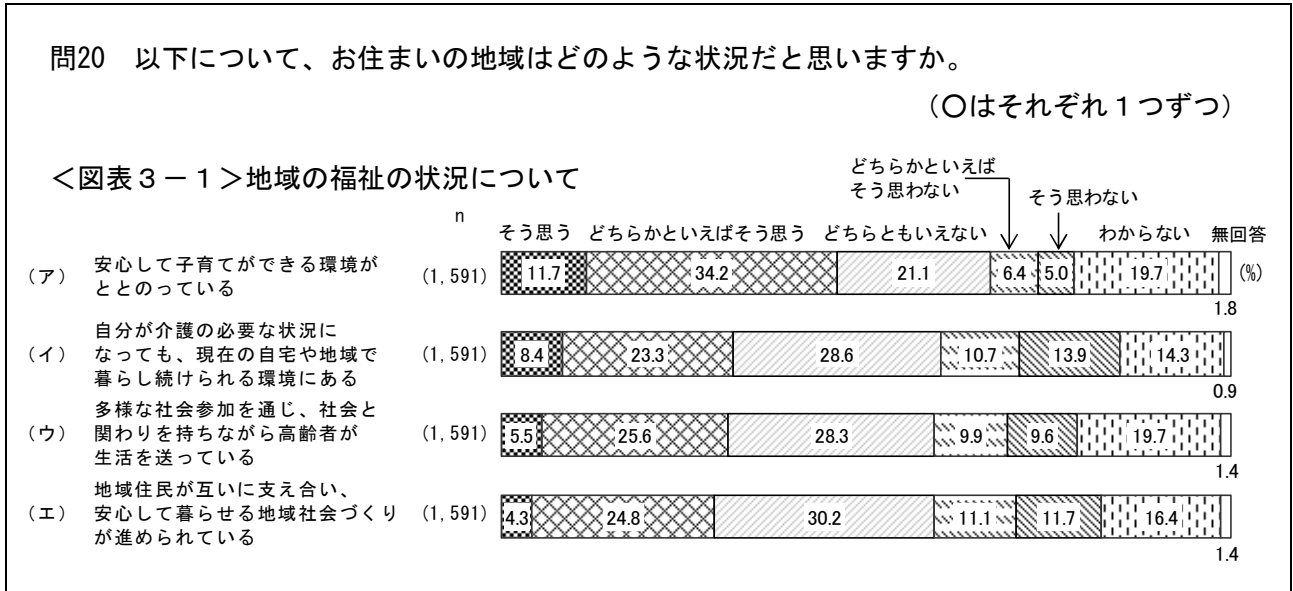


### 3 福祉について

#### (1) 地域の福祉の状況について

◇『そう思う（計）』が最も高いのは＜安心して子育てができる環境がととのっている＞で4割台半ば



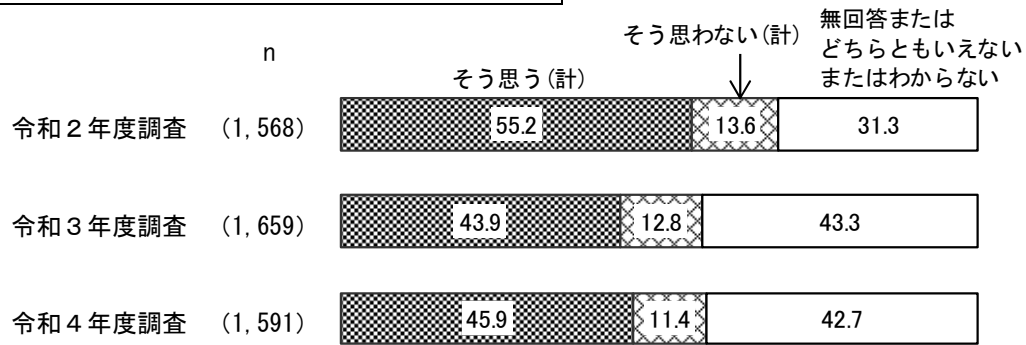
地域の福祉の状況に関する4項目について、お住まいの地域がどのような状況か聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』が最も高いのは、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」(45.9%)で4割台半ばとなっており、以下、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(31.6%)と「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(31.1%)が3割を超えて続く。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』が最も高いのは、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(24.6%)で2割台半ばとなっており、以下、「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」(22.8%)が2割を超え、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(19.5%)が約2割で続く。

(図表3-1)

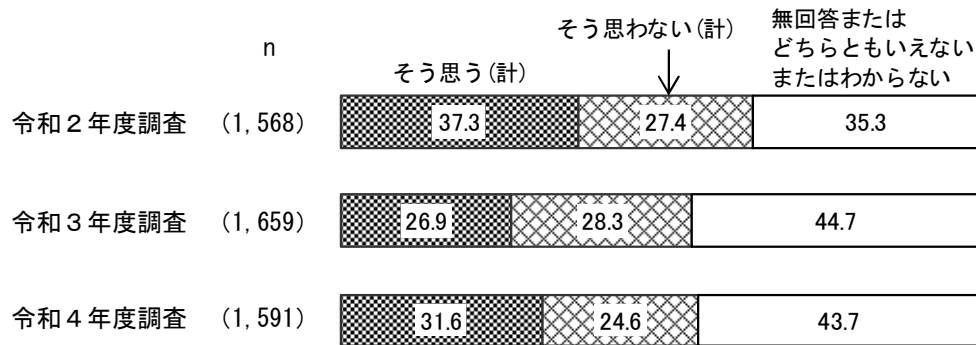
〔参考〕令和2年度・3年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

安心して子育てができる環境がととのっている



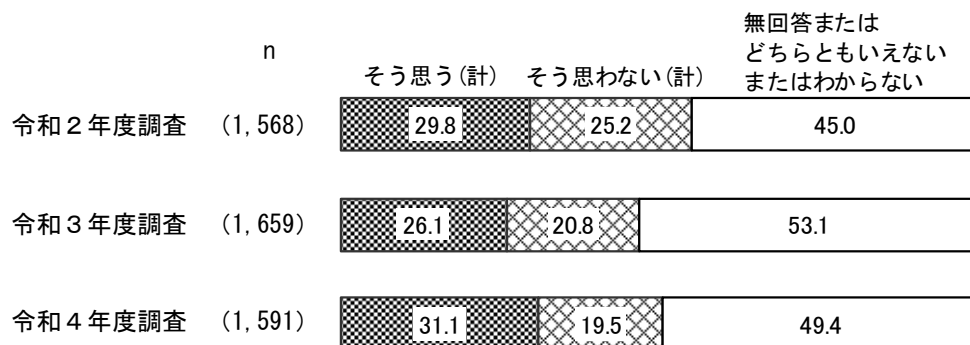
(※) 令和2年度調査で、「あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。子育て中の方は自身のことをお答えください。お子さんがいらっしゃる方や、すでに子育てを終えられた方は、ご家族や近所の方など、身の回りの子育て世代を想定してお答えください。(〇は1つ)」と質問した結果を参考に示した。

自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある



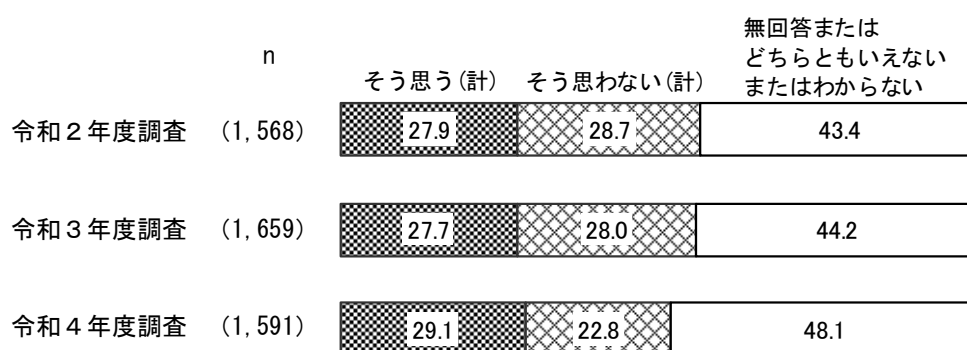
(※) 令和2年度調査で、「あなたは、自分が介護の必要な状況になっても、現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思いますか。(〇は1つ)」と質問した結果を参考に示した。

多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている



(※) 令和2年度調査で、「あなたは、千葉県に住む高齢者が多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思いますか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回りの高齢者を想定してお答えください。(〇は1つ)」と質問した結果を参考に示した。

地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている



【地域別】

地域別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思う(計)』は“印旛地域”(55.9%)が5割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は“安房地域”(33.3%)が3割を超え、“海匝地域”(25.6%)が2割台半ばで高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思わない(計)』は“海匝地域”(41.0%)が4割を超え、“長生地域”(40.5%)が4割で高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」では大きな傾向の違いは見られない。

「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」では大きな傾向の違いは見られない。(図表3-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思う(計)』は男性の40代(57.1%)が約6割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は男性の20代(26.5%)が2割台半ば、女性の30代(19.6%)が約2割で高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思う(計)』は女性の75歳以上(45.2%)が4割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は女性の50代(40.1%)が4割、男性の30代(36.6%)が3割台半ばで高くなっている。

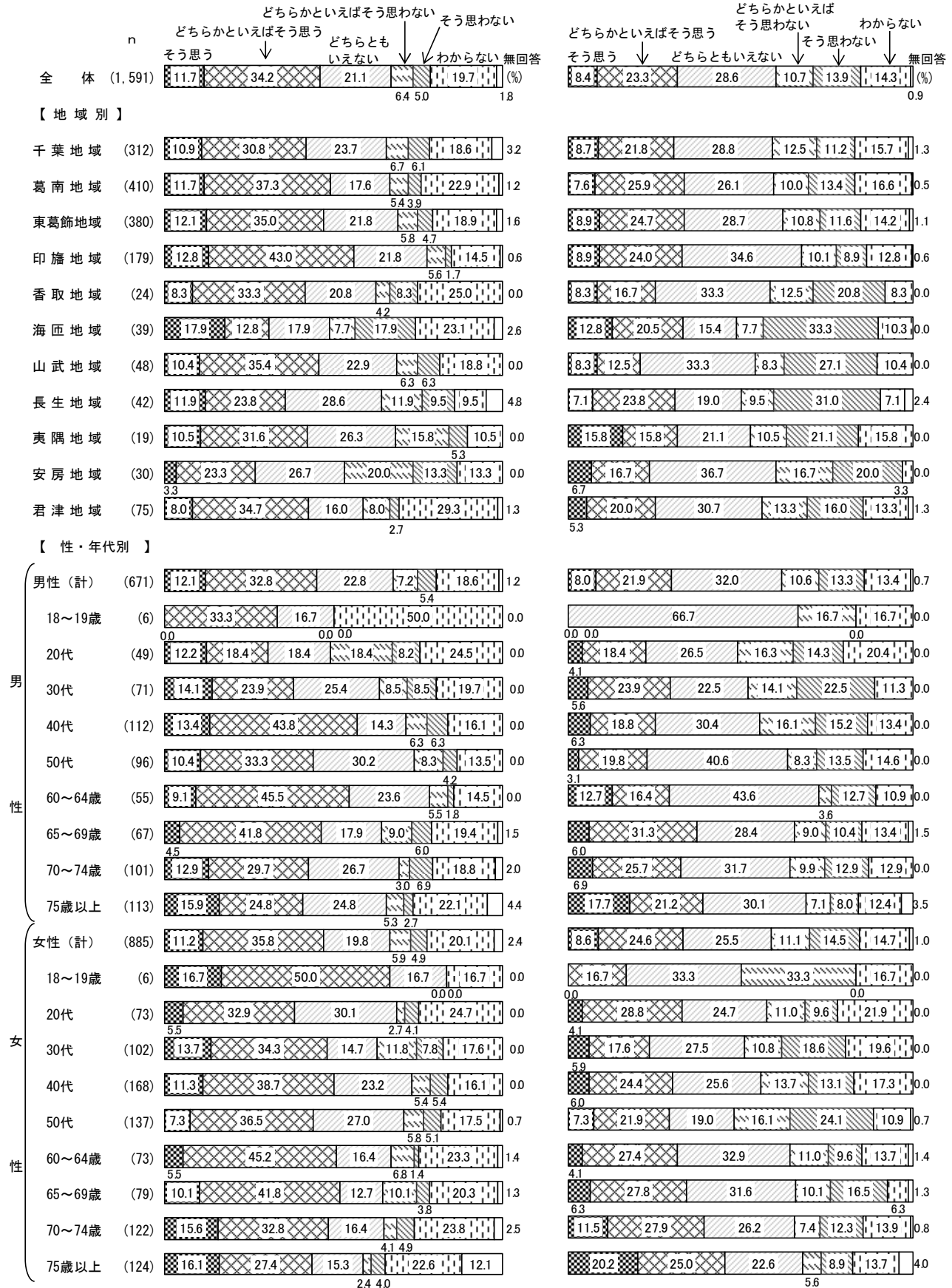
「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」では大きな傾向の違いは見られない。

「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思わない(計)』は男性の40代(33.0%)が3割を超えて高くなっている。(図表3-2)

＜図表3-2＞地域の福祉の状況について／地域別、性・年代別

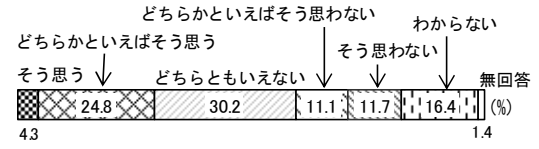
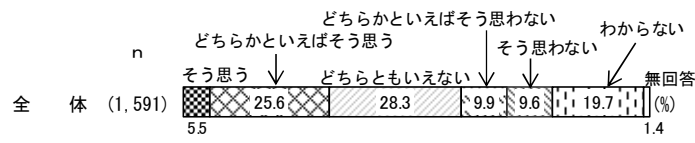
(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている

(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある

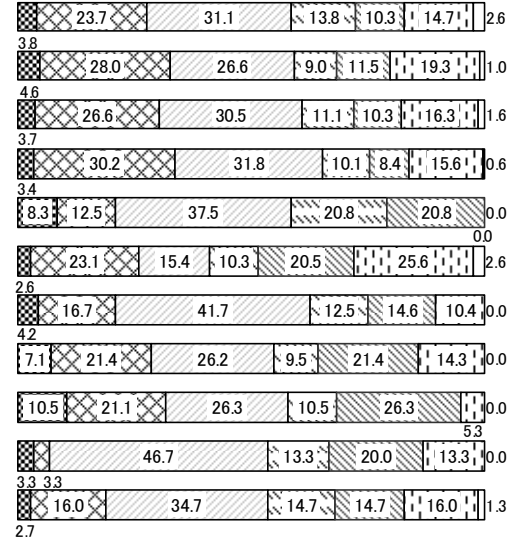
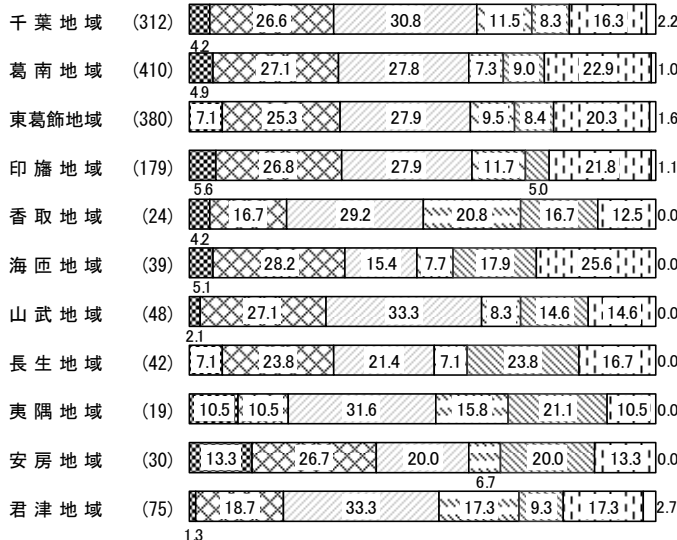


(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている

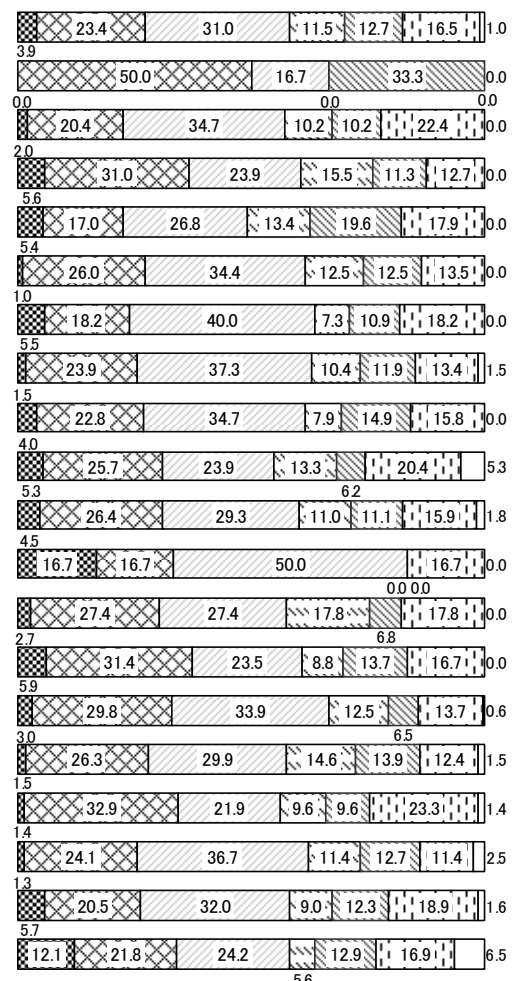
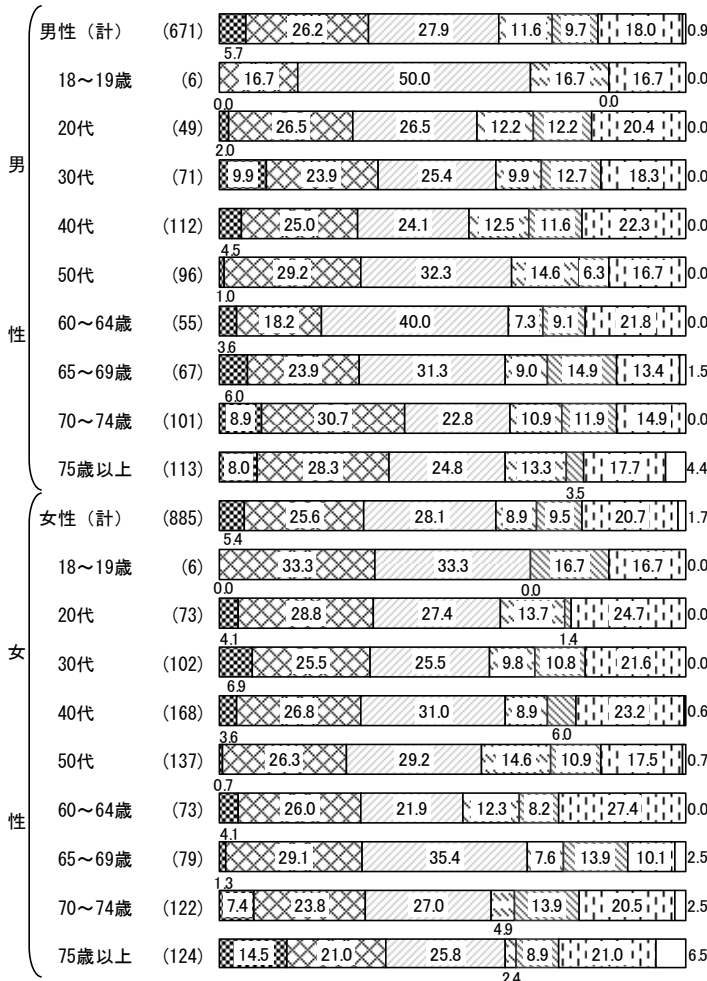
(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている



【地域別】

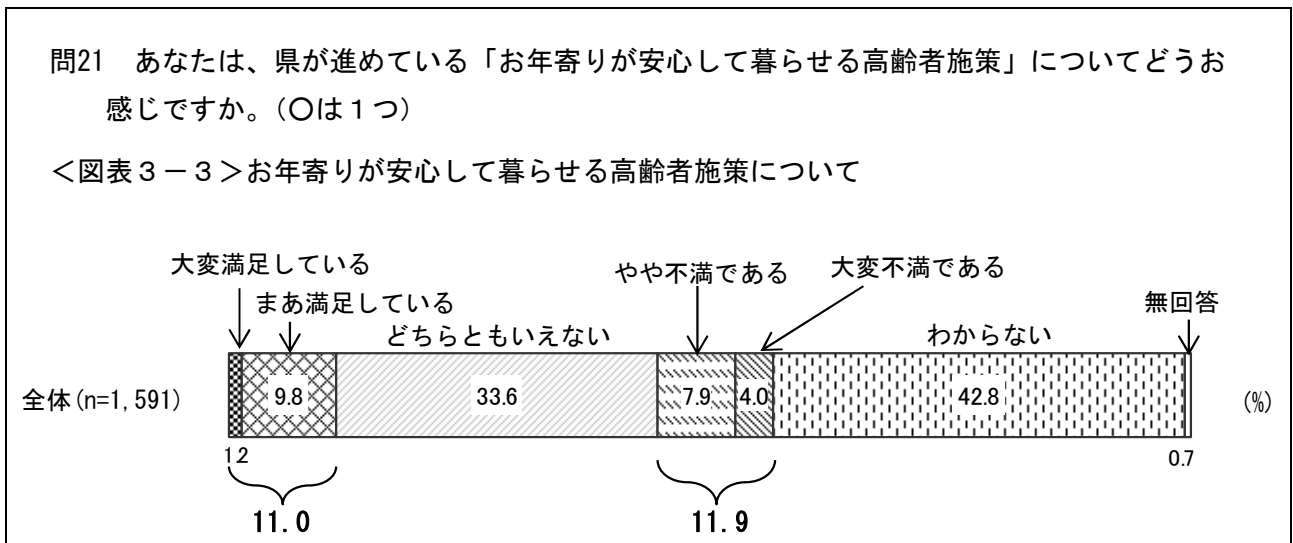


【性・年代別】



## （2）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

◇『そう思う（計）』が1割を超える



県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(1.2%)と「まあ満足している」(9.8%)を合わせた『満足している(計)』(11.0%)が1割を超えている。

一方、「やや不満である」(7.9%)と「大変不満である」(4.0%)を合わせた『不満である(計)』(11.9%)が1割を超えている。

また、「どちらともいえない」(33.6%)が3割台半ばとなっている。(図表3-3)

### 【地域別】

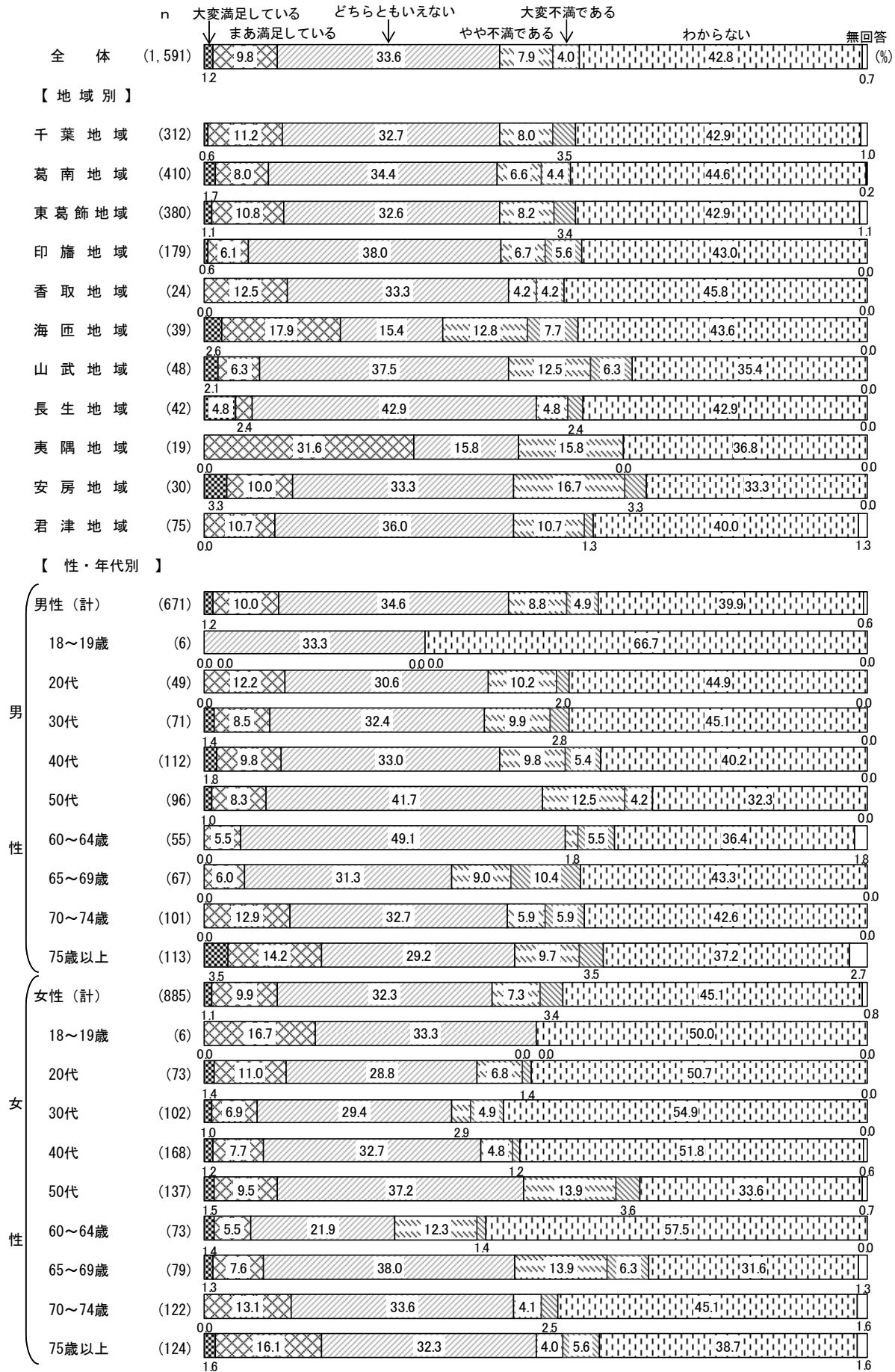
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表3-4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している(計)』は男性の75歳以上(17.7%)と女性の75歳以上(17.7%)が約2割で高くなっている。

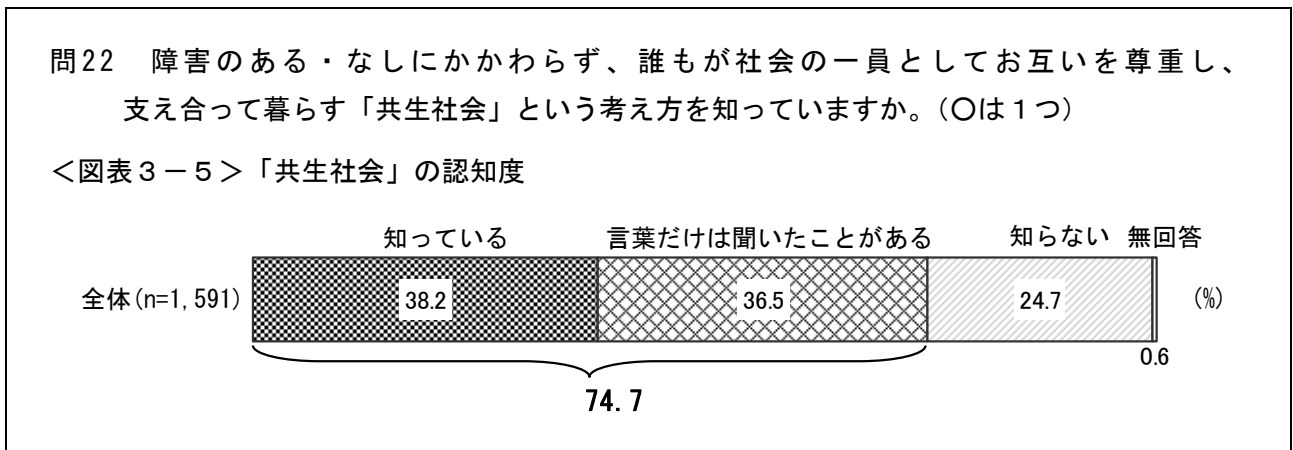
一方、『不満である(計)』は女性の65～69歳(20.3%)が2割、女性の50代(17.5%)が約2割で高くなっている。(図表3-4)

<図表3-4>お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について／地域別、性・年代別



### （3）「共生社会」の認知度

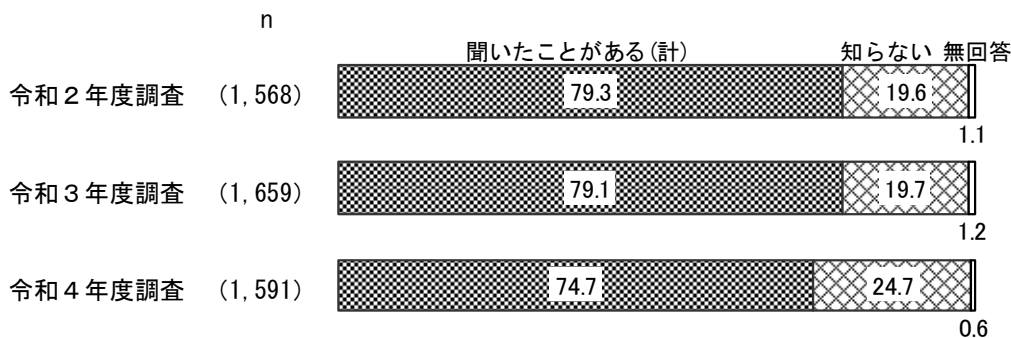
◇『聞いたことがある（計）』が7割台半ば



「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」（38.2%）と「言葉だけは聞いたことがある」（36.5%）を合わせた『聞いたことがある（計）』（74.7%）が7割台半ばとなっている。

一方、「知らない」（24.7%）が2割台半ばとなっている。（図表3-5）

【参考】令和2年度・3年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



#### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表3-6）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は女性の20代（87.7%）が約9割で高くなっている。

一方、「知らない」は男性の60～64歳（40.0%）が4割、男性の30代（36.6%）が3割台半ば、男性の40代（33.0%）が3割を超えて高くなっている。（図表3-6）



<図表3-6> 「共生社会」の認知度／地域別、性・年代別

